

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ



市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

子どもの姿 自分や他人を大切にし、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

家庭・学校・地域の姿 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する

市川の教育の姿 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
〒272-8501
市川市八幡1-1-1
TEL 334-1111

■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

新年度の教育行政運営方針を表明 「校内塾・まなびくらぶ」の新設など



田中 庸恵 教育長

市川市では、平成26年2月市議会定例会から、市長による施政方針(新年度の市政運営に臨む所信表明)に加え、教育委員会による教育行政の運営方針の演説が行われることとなりました。

去る2月17日に市議会議場において、教育長が教育委員会を代表し、新年度の教育行政運営方針の演説を行いましたので、その概要をお伝えします。

◎基本方針 3つの柱

新年度における教育行政の運営に向けた3つの基本方針を述べました。

①児童・生徒の学習環境の充実

将来の予測が難しい現在の社会において、子どもたちが自らの生涯を切り拓くために欠かせない学力や体力の向上を図る。また、学校施設、いじめなど、子どもたちの安全・安心に係る事柄のいずれにも適切に対応する。

②家庭・学校・地域・行政の連携

家庭・学校・地域・行政が自らの役割と責任を果たし、連携・協力をして、幅広い教育機能の活性化を図るため、新たな連携の在り方も拡充する。

③生涯学習の推進

社会教育施設の充実を図るなど、誰もが生涯を通して学び続けられる学習環境の実現を目指す。

◎「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」の実現に向けて

～新年度に取り組む重要な施策～

●子どもの姿

～「校内塾・まなびくらぶ」の新設～

学力の向上を図るため、退職教員や大学生、地域人材を活用し、放課後や長期休業中に児童・生徒に学習の場を提供する。

～子どもたちが運動やスポーツに親しむ機会の充実～

体力の向上を図るため、本市独自の取り組みであるヘルシースクール推進事業を継続するとともに、体育授業の充実や休み時間の外遊びのほか、地域のスポーツ指導者や大学との連携を図る。

●家庭・学校・地域の姿

～家庭教育学級や学校支援コーディネーターの充実～

家庭・学校・地域それぞれの教育力の向上を図り、行政がその営みを支える。

～小中一貫校の実現～

学校の教育力の向上を図るため、一貫校のモデル校として、平成27年度の開設に向け塩浜小・中学校の小中一貫校化を進める。

～中高一貫教育の推進～

中学校及び高等学校を分断することなく一貫的に育成する観点から、中高一貫教育の推進方策を検討する。

●市川の教育の姿

～学校の校舎等の耐震化～

すでに国土交通省が示す耐震基準を満たしているが、平成27年度までに、すべての学

校について、より安全性の高い文部科学省が示す耐震基準をも満たすよう、校舎等本体構造部の耐震補強工事を進める。

さらに、天井材や照明器具など非構造部材についても調査・設計を進める。

～いじめ問題への対応の強化～

各学校の実情に応じた「学校いじめ防止基本方針」を策定する。また、重大ないじめが発生した場合にその解決等を担う組織を置く。

さらに、学校の取り組みを地域から支援していただくため、市民を対象とした学校支援実践講座を開催し、いじめの未然防止に寄与していただく。

～生涯学習の推進～

第4次市川市生涯学習推進計画を策定する。

また、公民館や図書館、博物館などの学習機会の提供の充実を図る。

最後に、教育委員会は、近年の教育改革の議論に際し、受身の姿勢で流れに従うのではなく、学力向上や教育委員会制度改革といった重要な教育課題に対して、攻めの姿勢で主体的に取り組み、確かな成果を挙げていくことを表明したところです。

市民の皆様におかれましては、本市教育行政に対するご理解とご支援をお願い申し上げます。

なお、教育行政運営方針の閲覧につきましては、教育委員会のホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

【教育政策課】

豊かな家庭教育のために 連載(4)「家庭でのルールづくり」



子どもを取り巻く社会環境は、年々多様さを増してきています。その中で、子どもの成長の基盤となるのは、家族の絆です。それを一層強めていく必要があります。そのためには、家庭でのルールづくりが不可欠です。

子どもたちは、家族の関係を深めたり家庭でのルールを守ったりしながら、人との関係や社会のルールの大切さを学んでいきます。

家庭のルールには、あいさつ、家に帰る時間、食事の時間などの生活上のルールもあれば、他人に迷惑をかけない、うそをつかないなどといった道徳上のルールもあります。

しつけに一貫性をもたせしっかりと身につけさせるためにも、子どもの意見を聞いて一緒にルールづくりをすることも大切です。

そこで、ルールづくりのヒントを紹介しましょう。

子ども部屋のルール

- ・居間に顔を出してから子ども部屋に入る
- ・子ども部屋には鍵をかけない
- ・友だちを部屋に入れる前に親に紹介するなど

家庭学習のルール

家庭でも基礎的な学力の定着と向上を図るために、家庭学習の充実が必要です。目安としては、学年×10分(小学校3年生では30分)です

アウトメディアへの取り組み

メディア(ゲーム・テレビ・パソコン・携帯等)に接触する時間を制限する(1日2時間まで)など

携帯電話等のルール

- (「ママと君とのスマホ18の約束」より)
- ・公の場では電源を切るかマナーモードに

設定すること。特にレストランや映画館。他の人と話している時は気をつけてください。あなたは失礼なことをしない子です。携帯を持っていても変わらないでください。

・時々家に携帯を置いていきなさい。そしてその選択に自信を持ちなさい。携帯は生き物でもないし、あなたの一部でもありません。携帯なしでも暮らしていけることを覚えてください。取り残されることを恐れるのではなく、流行に流されない器の大きい人間になりなさい。

・上を向いて歩きなさい。あなたの周囲の世界に目を向けなさい。窓を眺めたり、鳥のさえずりをきいたり、散歩したり、知らない人と会話してみてください。ネットで検索せずに思考しなさい。

【生涯学習振興課/家庭教育指導員】

市川市教育振興基本計画

5年間の成果

「学校の勉強が楽しい」「学校の授業がよくわかる」が大きく向上



新たなサイクルへ 市川の教育

◎ この5年間で振り返って

市川市では、平成21年3月に改正された教育基本法の理念を踏まえ、平成25年度までの5年間で計画期間とする「市川市教育振興基本計画」を策定しました。計画では「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」を基本理念にすえ、47の教育施策と202の実施事業(平成25年度現在)を通して、本市教育の充実を図ってきました。

この教育振興基本計画の成果を検証するために、毎年児童生徒アンケートを実施してきましたが、昨年度の結果を見ると、「学校の勉強が楽しい」「学校の授業がよくわかる」といった質問に対する回答が、計画開始の平成21年度と比べ大きく向上しています。

また、昨年4月に実施された、国の「全国学力・学習状況調査」でも、市川市全体の結果は、千葉県及び全国の平均正答率を上回るという良好な成績をおさめることができました。

このように、本市の教育は、計画期間の5年間に様々な成果を挙げることができましたが、その一方で、東日本大震災による社会状況の急激な変化や、いじめ、体罰といった多くの解決すべき課題も浮上してきています。

そこで、教育委員会では、現行計画の最終年度であるこの時期に合わせ、未だ達成が不十分な施策や新たに浮上してきた教育課題等

に対応するために、平成26年度からの次期市川市教育振興基本計画の策定に取り組み、この1月に完成したところです。

◎ 充実への新たなサイクルへ

この4月からスタートする第2期の市川市教育振興基本計画は、平成26年度から30年度までの5年間で計画期間としています。

計画の根幹となる「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」という「基本理念」と、目指す「子どもの姿」「家庭・学校・地域の姿」「市川の教育の姿」といった「基本的方向」については、前述のように、様々な成果をあげることができたことから、第1期計画に設定されていたものをそのまま継承しています。

計画の構成については、第1章で「市川市の教育の現状と課題」を整理し、第2章で「課題に対応するための基本理念」を定め、第3章で「市川市の教育が目指す基本的な考え方」を示し、第4章で「今後5年間を通して実施する施策の目標や基本的な方向」と「その実現に必要な施策」を定めています。施策については、第1期計画の反省をもとに精選を図り、重点化、焦点化を図るようにしています。

また、施策ごとに目標の達成度を測るための成果指標を設定し、そこで明らかになった

課題等をフィードバックすることによって今後の施策に反映させるという、いわゆるPDCAサイクル(立案・実施・評価・改善)による施策の改善システムを活用しています。

なお、成果指標については、原則的に児童生徒、保護者、社会教育施設の利用者など、教育施策の直接的な受益者に対する成果を測ることができる内容とし、学校をはじめとする教育現場の意見・要望をできるかぎり把握するよう努めています。

◎ 積極的な参画・ご協力を

教育委員会では、こうして策定された第2期の教育振興基本計画に示された各施策の推進を通して、第1期計画における過去5年間以上の成果をあげていきたいと考えています。市川教育の更なる充実に向けた新たなサイクルのスタートです。保護者や地域の皆様の積極的な参画・ご協力を是非ともお願いいたします。

なお、第2期計画の閲覧につきましては、教育委員会のホームページに掲載しているのと併せて、市政情報センター(市川市役所1階)及び市政情報コーナー(中央図書館・行徳図書館・大野公民館図書室・男女共同参画センター)でも閲覧できるようにしておりますので、ぜひご覧ください。【教育政策課】

学校版環境ISO認定式

学校版環境ISO認定事業は、各学校の特色ある環境保全活動や省エネルギー・リサイクル活動への取り組みを推進し、児童生徒及び家庭・地域の環境意識の高揚と、実践力を高めることを目的とするものです。

今年度で11回目を迎える認定式は、1月23日に生涯学習センター内グリーンスタジオにおいて行われ、新たに八幡小学校、曾谷小学校、北方小学校、塩浜小学校、第五中学校、須和田の丘支援学校の6校に認定証が授与されました。

また、2年目を迎えた宮田小学校、大洲小学校、二俣小学校、第四中学校、第七中学校の子どもたちにより、実践発表が行われ、出席された来賓の方々や学校関係者からも多くの拍手が送られました。

子どもたちがふだんの生活の中であたりまえのように行っている「環境保全活動」の報告を聞いて、私たち大人も、改めて持続可能な社会作りに向けて、「環境保全活動」を真剣に考えなくてはならないと、強く感じた認定式となりました。

なお、第七中学校は2月1日の千葉県教育委員会主催の第4回エコスクールちばコンテストにおいて、実践の発表を行い、優秀賞に選ばれたとの嬉しい報告がありましたのでお知らせします。

【指導課】



第七中学校の発表



教育実践記録論文の募集は、自分の教育実践をまとめることで教職員の自己啓発を促すことを目的として、昭和54年に始まりました。

〈平成25年度 教育実践記録論文受賞一覧〉

賞	学校名	氏名	分野	テーマ
最優秀	宮久保小	倉本有巳子	算数・数学	「個々の学びを確保するために」 ～児童の学習評価を蓄積し丁寧な指導をめざす～
優秀	富貴島小	野田 貴志	国語	豊かな心を求めて「一人ひとりの主体的な学びを育てる国語科学習」 ～読解力の育成を目指した言語活動の探究～
優秀	百合台小	吉田美穂子	算数・数学	算数科における表現力を高めるために ～イメージを大切にしている演算決定の実践から～
優良	中山小	諸橋 智之	その他	学校給食情報開示システムに関する研究 ～給食情報からはじまる食育～
特別賞	福栄小	深尾 武司	学校経営	活力に満ちた 未来へつなぐ 福栄小教育をめざして! ～人と人をつなぐ 教育実践の実践～

経験5年以下「フレッシュ部門」

賞	学校名	氏名	分野	テーマ
最優秀	塩焼小	石川 剛士	その他	作文嫌いO(ε_0)へ!文字・情報に親しむ新聞教育の検証 ～はがき新聞活用と低学年から取り組めるスクラップの実践より～
優秀	南新浜小	芦塚 千夏	特別支援	通常学級における個別の支援
優良	信篤小	大宮 友樹	その他	運動に親しみ、体育の日常化と体力の向上を目指す ～「信篤小ギネス」に挑戦!～

平成25年度教育実践記録論文表彰
「豊かな心・確かな学力・健やかな体を育む実践の数々」
平成25年度教育実践記録論文の表彰式・発表会が、2月4日に生涯学習センターで行われました。今年度は、一般部門の最優秀賞には宮久保小・倉本有巳子教諭の論文が、経験5年以下「フレッシュ部門」の最優秀賞には塩焼小・石川剛士教諭の論文が選ばれました。【教育センター】

市川小学校が千葉県で初めて受賞!



2月20日に、日本学校保健会主催の健康教育推進校表彰事業において、市川小学校が優秀校として表彰されました。

この事業は、健康教育の推進に積極的に取り組み、成果を上げている学校の実践を全国から募集し表彰する事業で、本年度は、千葉県教育委員会及び千葉県学校保健会から市川小学校が千葉県の代表校として推薦されました。小学校の部で優秀校として受賞されるのは千葉県で初めての快挙です。誠にありがとうございます。

以下、市川小学校の健康教育の取組を紹介いたします。

【市川市立市川小学校の取組の概要】

平成17年度より市川市ヘルシースクール推進校の指定校として、健康教育を学校経営の柱の一つ(健やかな体の育成)として様々な取り組みを行っています。

「やさしいところ」～やさしいところで かしこく たくましく～を合言葉に、校内ヘルシースクール推進委員会(学校保健委員会)を中心に、健康づくり、体力づくり、食育の充実、安全指導の4つのセクションの計画を立て、様々な健康教育活動に取り組んでいます。

食に関する授業実践では、生活科、理科、家庭科等、教科の関連を踏まえ、栄養教諭と連携した授業を行っています。命の教育では、外

体力
食育 安全

部講師を招いた授業や、養護教諭と連携した授業を行っています。安全指導では、通常の避難訓練等に加えて、休憩時間に非通知型避難訓練や津波想定での避難訓練も実施し、緊急時に対応できるよう保護者の協力のもと、全校で訓練しています。

地域連携の取り組みとしては、すこやか会議(保健委員会・給食委員会・体育委員会が合同で取り組む発表会)に学校医等を招き、児童各委員会の健康教育活動の発表で助言をいただいたり、歯磨き指導や歯と口の保健学習の際に、学校歯科医や市保健センターの歯科衛生士を講師に招いたりするなど、多くの方の協力を得ています。歯科保健においては、むし歯の罹患率が少ないなど、千葉県学校歯科保健優良校として3度表彰されている実績もあります。



グラウンドいっばいのなわジョグ

体力づくりの一環として、体育の授業をはじめ、学校独自で考案したなわジョグタイム(なわとび運動とジョギング)、わんぱくタイム(業間)のミニスポーツ大会等、限られた場所で運動時間を効果的に生み出す工夫をしています。

これらの取り組みにより、市内陸上大会や水泳大会、相撲大会の部活動において上位の成績を修めるなど、成果が表れています。

【保健体育課】

未来へつながる輝かしき活躍! 平成25年度 市川市 児童・生徒学習表彰

2月17日に、平成25年度市川市児童・生徒学習表彰の表彰式が市川市議会議場で行われました。この賞は学校等の教育活動において、県・関東・全国規模の大会等に参加し、最優秀またはそれに準ずる成績を収めた個人・団体に与えられるものです。35回を迎えた本年度は、個人16件、団体14件が受賞しました。受賞者には大久保市長から賞状と記念品が授与されました。受賞された児童生徒の皆さん、おめでとうございます。【指導課】



学校名 学年	氏名	表彰件名	表彰順位
市川小3年	遠藤 大城	第12回千葉県小学生学年別柔道大会	男子3年生の部 30kg超級 優勝
真間小5年	林 華子	第59回青少年読書感想文千葉県コンクール	小学校高学年の部 教育長賞
国府台小1年	石井 嵩人	第13回千葉県小学生空手道選手権大会	小学1年 男子組手 優勝
国府台小4年	大林 茉央	第13回千葉県小学生空手道選手権大会	小学4年 女子形 優勝
南行徳小5年	野田 海優	第35回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ 春季水泳競技大会	10歳以下 女子50m 背泳ぎ 第1位
南行徳小4年	田中 輝乃	第12回千葉県小学生学年別柔道大会	女子4年生の部 35kg級 優勝
南行徳小6年	田中 智陽	第12回千葉県小学生学年別柔道大会	女子6年生の部 45kg超級 優勝
大洲小5年	石垣 和宏	①平成25年度小・中・高校生 ポールルームダンス・全日本チャンピオンシップ ②第33回三笠宮杯 全日本ダンススポーツ選手権	①小学生高学年の部男女カッパル スタンダード部門2種目総合 優勝 ①同上 ラテンアメリカン部門2種目総合 優勝 ②全日本選手権ジュブナイル スタンダード 優勝 ②同上 ラテン 優勝
第五中3年	山田 元大	2013全日本ジュニア体操競技選手権大会	男子 Aクラス 鉄棒 第1位
第七中2年	近藤 駿介	平成25年度 千葉県中学校新人体育大会	柔道60kg級 優勝
第七中3年 (受賞時2年)	栗原 優風	第26回吹奏楽個人コンクール県大会 (平成24年度表彰)	オーボエ 金賞 審査員特別賞 賛助会賞
福栄中3年	足助 滯弥	平成25年度千葉県秋季水泳競技大会	男子中学50m背泳ぎ 第1位 男子中学100m背泳ぎ 第1位
福栄中3年	山口 華奈	平成25年度千葉県秋季水泳競技大会	女子中学200m背泳ぎ 第1位
福栄中1年	森本 理矩	平成25年度千葉県中学校新人体育大会	男子200m個人メドレー 第1位 男子100m自由形 第1位
福栄中3年	高梨 汐音	千葉県中学校水泳競技大会	女子200m平泳ぎ 第1位
昭和学院中2年	永田 愉吉 藤木 敦也	平成25年度千葉県中学校新人体育大会	ソフトテニス男子個人の部 第1位

学校名	団体名	表彰件名	表彰順位
南行徳小	須賀道場	第12回千葉県小学生学年別柔道大会	女子団体の部 優勝
南行徳小	南行徳MBC 男子スポーツ少年団	第33回千葉県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会 兼 第32回関東大会予選	男子の部 優勝
第五中	市川市立第五中学校 合唱部	第68回関東支部合唱コンクール	中学校部門 混声の部 金賞
福栄中	市川市立福栄中学校水泳部 男子400mメドレーリレーチーム	千葉県中学校水泳競技大会	男子400mメドレーリレー 第1位
福栄中	市川市立福栄中学校水泳部 男子200mメドレーリレーチーム	平成25年度千葉県中学校新人体育大会	男子200mメドレーリレー 第1位
福栄中	市川市立福栄中学校水泳部 男子チーム	平成25年度千葉県中学校新人体育大会	男子総合 第1位
大洲中	市川市立大洲中学校 女子ハンドボール部	第67回千葉県中学校総合体育大会	ハンドボール競技 女子の部 優勝
昭和学院中	昭和学院中学校 新体操部	平成25年度全国中学校体育大会 第44回全国中学校新体操選手権大会	団体 準優勝
昭和学院中	昭和学院中学校水泳部 女子400mメドレーリレーチーム	千葉県中学校水泳競技大会	女子400mメドレーリレー 第1位
昭和学院中	昭和学院中学校水泳部 女子400mリレーチーム	千葉県中学校水泳競技大会	女子400mリレー 第1位
昭和学院中	昭和学院中学校 バスケットボール部	第67回千葉県中学校総合体育大会	バスケットボール競技 優勝
昭和学院中	昭和学院中学校 体操競技部	第67回千葉県中学校総合体育大会	体操競技 女子団体総合 優勝
昭和学院中	昭和学院中学校 女子ソフトテニス部	第67回千葉県中学校総合体育大会	女子団体の部 第1位
昭和学院中	昭和学院中学校 バト部	第48回バトトーニング関東大会	中学校の部 中編成 金賞

地域で子どもの健全育成!

◆平成25年度グループリーダーアカデミー◆

グループリーダーアカデミーは、園児～小学生の子どもたちと関わる方を対象に実施し、様々な遊びが学べる講習会です。

「子どもの指導者としての資質向上」「レクリエーションのスキルアップ」「参加者同士の情報交換」を目的に、今年度は道具がなくても遊べるレクリエーションゲームやソング、身近な材料で楽しめるクラフト、折って切るだけでステキなかたちができるひと裁ち折り紙の講習会を、1月～2月に全5回実施しました。

豊富な経験を持つ講師の方々には豊かな個性があり、各回とも、魅力があって楽しみながら参加できる講習会になりました。実施した5回の講習会は、遊び方や楽しみ方には内容ごとに違いがあるものの、遊びを通して「どう子どもたちの心をほぐすのか」「子ども同士がコミュニケーションを取りながら楽しく遊べる環境をどう創り出すのか」「遊びの中でどういった心や力が養われるのか」といった『遊びを通じた子どもの健全育成』の視点が根本にありました。

地域活動や職場などで活かそうと、講習会に夢中で参加している受講者の姿は、子どもたちを大切に思う気持ちが感じられました。また、どこか童心に返ったようにも・・・。

来年度のグループリーダーアカデミー、その他指導者育成講習会の募集につきましては、市川市のホームページ、広報いちかわに、随時掲載する予定です。【青少年育成課】

通級指導教室

北部1校・南部1校 4月に開設

市川市教育委員会では、特別支援教育推進に係る環境整備の観点から、通級指導教室(情緒)を現在3小学校に設置いたしております。個に応じた教育的支援のニーズが高いことから、通級指導教室(情緒)の設置地域の状況等を考慮した結果、平成26年4月より下記の小学校2校に通級指導教室(情緒)を開設することになりました。

通級指導教室の開設に関するお問い合わせは義務教育課に、入級のご相談は教育センターまでお申込みください。

《通級指導教室(情緒)》

市川市立大野小学校 所在地:市川市南大野1-42-1

市川市立妙典小学校 所在地:市川市妙典2-14-2

○義務教育課 TEL334-1638

○教育センター TEL320-3336

(相談の受付は、火曜日～土曜日 午前9時～午後5時)

【義務教育課】

奈良正倉院からたどる・・・

市制80周年記念事業

奈良正倉院に残された奈良時代の下総国戸籍をもとに、村の成り立ちや、村のかたちなどについて展示します。

展示には、これと併せて、「外環自動車道建設の事前発掘調査」で出土した後通遺跡の井戸枠、北下遺跡の祭祀遺物など、これまであまり公開されたことのない資料も多数展示する予定です。

身近な文化財を通して、市川市の歴史を感じていただくと幸いです。

「古代の村ムラー戸籍と遺跡」

- 1 会期 平成26年3月9日(日)～5月25日(日)
- 2 会場 市立市川歴史博物館2階 特別展示室
- 3 主催 市立市川考古博物館
- 4 入場 無料



恒例

縄文体験フェスティバルin堀之内貝塚

- 1 日時 平成26年3月30日(日) 午前10時～午後3時
※雨天の場合は、考古博物館・歴史博物館内にて縮小開催。
- 2 会場 考古・歴史博物館、歴史博物館南側広場・堀之内貝塚公園
- 3 内容 考古・歴史博物館恒例の行事です。地域の人々が気軽に集い、参加できるさまざまな催し物を用意しております。

＜予定している催し物等＞

縄文食体験(土器によるアサリ汁)・火おこし体験・縄文造形教室・拓本体験・韓国衣装体験・竹細工体験・外環道路関連遺跡出土品の展示・産直野菜の販売・紙芝居・餅つき・フリーマーケットなど
※都合により内容が変更になることがあります。



勾玉づくり体験

- 4 参加費 無料(一部定員<先着順>や体験費が必要なものがあります。)
- 5 主催 縄文体験フェスティバル実行委員会

(考古博物館・歴史博物館・堀之内自治会ほか)

＜問い合わせ＞事務局:市立市川考古博物館 担当:領塚正浩

〒272-0837 市川市堀之内2-26-1

TEL373-2202 FAX373-2205

【考古博物館】

トイレ改修を順次すすめています



～ 明るいトイレを目指して ～

市川市では、トイレ改修を順次進めております。学校のトイレは、老朽化により5K(臭い・汚い・怖い・暗い・壊れている)といわれ、児童・生徒が学校で排便をしない傾向があるとされています。健康上生理のリズムを守る大切な施設であり、常に児童・生徒が気軽に使え、身だしなみを整える場所として必要不可欠なものであります。



平成25年度においては、小学校2校(曾谷小学校、宮久保小学校)及び中学校1校(第二中学校)の合計3校で、トイレ改修工事を行ないました。

従来の学校では、床を水洗いする「湿式清掃」が主体でしたが、改修工事を機会にモップを絞って清掃する「乾式清掃」への切り替えを行っています。

「湿式清掃」では、床や器具が濡れた状態で放置されるケースが多いため、菌の繁殖を促しやすく不衛生であり、悪臭の原因ともなります。今後も乾式化を進めて行く予定です。

また、家庭のトイレでは、ほとんどが洋式便器が設置されている事に合わせ、基本的には洋式化を進めながら、その学校にあった設備を検討し、明るいトイレを目指して行きます。【教育施設課】

～ 子どもにかかわる相談は、ここです ～



・少年相談(少年センター) 対象:小学1年生～20歳未満
家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談
TEL320-3340 月～金(9:00～17:00 ※木のみ19:00)

・教育相談(教育センター) 対象:3歳～中学3年生
子育てや教育に関する様々な悩みについての面接相談
TEL320-3336 火～土(9:00～17:00)

・ほっとホッと訪問相談(教育センター) 対象:小学1年生
主に不登校についての電話・訪問相談 ～中学3年生
TEL320-3362 火～金(12:30～17:00)